

神奈川県  
「マスク飲食」で  
マスクを当てよう

マスク飲食の実践など新型コロナウイルス  
感染拡大防止にご協力をお願いします。




ヨコハマ **想**い vol.84

音に生命あり

千住 真理子

ヴァイオリニスト  
**千住 真理子さん**  
Senju Mariko

1962年、東京生まれ。2歳3カ月よりヴァイオリンを始める。1973年、全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位優勝。1975年、NHK交響楽団と共演し12歳でプロデビュー。1977年、第46回日本音楽コンクール優勝。慶應義塾大学文学部哲学科卒業後、日本を代表するヴァイオリン奏者として活躍。チャリティコンサート等、社会活動も精力的に行っている。2002年、幻の名器ストラディヴァリウス「デュランティ」と運命的に出会い、話題に。アルバム、著書多数。  
公式サイト <https://marikosenju.com/>  
インスタグラム @marikosenju

昨年、デビュー45周年を迎えたヴァイオリニストの千住真理子さん。幼少期から横浜で暮らし、今年の東京オリンピックの聖火ランナーにも選ばれている。横浜、家族、音楽——千住さんが奏でる音には、たくさんの愛が詰まっている。

### 🎻 努力の父、感性の母

両親は共に理系人間。数学者だった父の口癖は、とにかく「努力」、それから「人と競争してはいけない」ということ。私がコンクールに出るといって「音楽は競争するものなのかい？」とよく聞かれました。結果よりもその過程を重視した人でした。

母は芸術的感性が鋭かったですね。私たちの作品やコンサートに対して言う何気ない感想が、どれも本質をついた言葉ばかり。落ち葉を見て涙を流すような感性をもっていました。母からは「芸術は幸せな人のためではなく、傷つき、悲しみの中にいる人に寄り添うためにある」と教わりました。この言葉は、これがないと立ってられないというほど、私の音楽家としての核になっています。音楽を聴きに來られない方のところに行って演奏するボランティア活動も20歳の頃からずっと続けています。

同じ曲を弾いても絶対に同じ音にはなりません。CDではカットされてしまう音域があるので、生とは違ったものになってしまいます。演奏者がその瞬間にしか出せない魂の音を、体全体で感じてほしいですね。

クラシックは敷居が高いと思われがちですが、頑張らないといけけないのは演奏家だけ。ポップスのコンサートに行くような気軽な気持ちで、聴きにいらしてください。

### 🎻 インスタグラムが励みに

昨年はコロナの影響で演奏会の予定が白紙になり、思わぬ時間ができました。新たに始めたのがInstagramです。それまではガラケーを使っていて、生涯それで通そうと思っていたのですが、昨年、友人に無理やり携帯ショップに連れて行かれてスマートフォンにしました。そのほうが便利だからと説得されて。変えたからには何か始めてみようと思ったんです。やってみたらファンの方と交流できるのが楽しくて！6カ月間、こもりきりで練習していたので、皆さんの返信が大きな励みになりました。今もまめに投稿しています。

### 🎻 演奏会での音は一期一会

12歳でプロデビューし、昨年、45周年を迎えました。常に心に留めているのは、ステージで音を出し始めた瞬間、初めて音楽に出会った時のような新鮮な感動がわきあがるかどうか。これを失ったら、ステージに立つのを辞めたほうがいいと思っています。

今月、関東で2つの演奏会を行います。ミュージアムでは春夏秋冬、ストラディヴァリウスの音色を堪能する企画の第1回を。楽器はピアノとヴァイオリンだけです。春の息吹と幸福感に満ちた曲を選びました。サントリーホールでは、オーケストラの迫力と、それを突き抜けるヴァイオリンの鮮烈な音を味わっていただきたいです。

コンサートで生まれる音は一期一会。耳に届いた瞬間にその音は消えてしまいま

### 🎻 愛着ある横浜の街

幼稚園の時から10年ほど前まで、横浜の青葉区に住んでいました。ずっと住むつもりでしたが、母の看護と演奏活動を両立させるため、都内に移らざるを得ませんでした。横浜という街が大好きですし、特に住んでいた場所にはたくさんの思い出が詰まっています。フィリアホール(横浜市青葉区民文化センター)で演奏会がある時は、早めに行き自分の家があった辺りをパトロールするように回ってしまいます。行きつけだったお店は変わりないかなって(笑)。聖火ランナーで横浜を走れることも光栄ですし、身の引き締まる思いです。

### 🎻 膝の上で始めたヴァイオリン

ヴァイオリンは2歳3カ月で始めました。

先に兄2人(日本画家の千住博さん、作曲家の千住明さん)が習っていたのですが、兄たちの楽器を見つけて弾こうとしたそうです。いたずらされるくらいならと、一緒に習うことになりました。

昔、母方の祖父がドイツに留学する時に、偶然アインシュタインと同じ船に乗り合わせ、甲板でヴァイオリンを弾く姿をよく見かけたそうです。母はその話を祖父からたびたび聞いていて、ヴァイオリンに憧れがあり、私たちに習わせたのだと思います。

習い始めた頃は、ヴァイオリンをしっかり持つことができないので、先生の膝に乗せてもらい、私を抱きかかえるようにして先生が弾いてくださいました。私は自分で弾いていると勘違いして楽しかったことを覚えています。練習するほどどんどん弾けるようになり、音楽に魅せられていきました。

#### 千住真理子フェスティバル

5月11日(火)13時30分開演  
ミュージアムシンフォニーホール 4,800円ほか  
共演者:山中 惇史(ピアノ)  
曲 目:ベートーヴェン/  
ヴァイオリン・ソナタ第5番「春」ほか  
問合せ:☎045(453)5080 神奈川県芸術協会

#### 千住真理子

ドラマティック・コンチェルト  
5月22日(土)13時30分開演  
東京 サントリーホール S席8,500円ほか  
共演者:岩村 力/東京フィルハーモニー交響楽団  
曲 目:メンデルスゾーン/  
ヴァイオリン協奏曲ほか  
問合せ:☎0570(00)1212 ジャパン・アーツびあ

## 5月22日(土) 東戸塚で相談会

### 相談会概要

- 日程 5月22日(土)
- 時間 ①9:30~ ②10:20~ ③11:10~ ④12:00~  
※ご希望の日時をお伝え下さい。後日、主催者より確定の連絡があります。
- 定員 各回1組  
※完全予約制、参加費無料
- 相談員 横浜北仲通り法律事務所  
弁護士 武藤一久さん
- 会場 SSビル2階(受付は3階にて) JR東戸塚駅西口徒歩2分
- 申込 相談会事務局(フジサンケイ企画内)

0120-505-470  
10:00~17:00 無休

申込URL <https://ansapo.jp/semi/1602>  
※応募者の個人情報は、相談会運営と今後の案内に利用します。

## 弁護士に聞ける! 相続、共有不動産、立ち退きトラブル回避方法とは?

主催/積水ハウス 協力/フジサンケイ企画

### こんな人は相談してみませんか

- 相続資産を活用したい
- 立ち退き交渉がうまく進まない
- 古い貸家の建て替えを検討したい
- 共有名義の不動産がある



人口の4人に1人が65歳以上の高齢社会を迎えた日本。どの家庭にも必ずやってくるのが相続の問題。日本では相続の多くを占めるのが不動産だそう。相続した不動産は大きな資産となりますが、様々なトラブルを抱えている場合も多く、その活用方法に頭を悩ませているケースも少なくありません。「実家を相続したが空き家になっている」「相続した不動産が共同所有で、活用法について方針がまとまらない」「相続したアパートを建替えたいが、入居者退去が進まない」など、相談内容は多岐にわたります。

活用できていない不動産は、税金がかかることは勿論、管理不足で近隣トラブルにも繋

がりかねません。貴重な資産を守り活用するために、解決策を考えてみませんか?

積水ハウスでは、横浜北仲通り法律事務所の武藤一久さんを招き、個別相談会を開催。経験豊富な弁護士に相談するチャンスです。少しでも気になること・不安なことがある方はこの機会に参加してみてください。

お申込みは電話、webから。ご希望の日時を伺い、後日主催者より確定の連絡があります。ご了承の上、申込みください。

お気軽に  
ご相談を

